



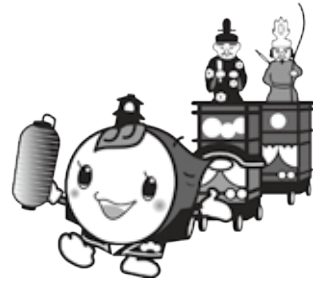
無所属 小林 薫  
山車修繕基金の設立を

6

いきたいと考える。

問各町内保有の山車の修繕には高額な費用が掛かり苦勞されているので、修繕基金を設立し運用したらどうか。

答市長 山車の維持あるいは修理をするのに、多額のお金が掛かるということは承知している。今後、多くの山車が修理に回るといふようなことも想定できるので、基金の件について検討を進めて



問市長の政治姿勢  
川越まつり



公明党 田畑 たき子  
障がい者支援について

7

問障がい者のグループホームの定員数を増やしていくために、市は今後、どのような取り組みをしていくのか伺う。

答福祉部長 社会福祉法人やNPOなどのサービス事業者への説明会を開催し、需要や必要性、設置基準などについて情報提供を行い、グループホーム設置を促進するほか、事業者や関係課と連携し、

市営住宅の空き室活用の検討を進めるなど、グループホームの拡充に向けた総合的な支援を行っていく。

また、グループホーム設置事業者に対して行っている運営費補助を継続し、資金面においても引き続き支援していきたい。

問障がい者支援



公明党 中村 文明  
川越市としても協力体制を

8

問子ども食堂など、こども居場所づくりに関して、市としても協力体制を整えていくことが重要と思うが、市の考えは。

答こども未来部長 こども食堂は、学習支援等の他事業と併用することにより、地域の関係者とのつながりができ、子どもの居場所づくりとして効果が見込まれるところである。



問こどもの居場所づくり

問特殊詐欺や悪質商法の被害防止について、市民や民間との協力を含め、市全体で取り組むべきと考えるが、今後の対策について伺いたい。

答栗原副市長 特殊詐欺や悪質商法は個人が狙われる犯罪であり、これを防止するためには、関係団体や事業者等と協力して広く注意を呼び掛け、市民一人一人に防犯対策

このため、庁内の関係部署だけでなく、川越市社会福祉協議会等にも意見をもらいながら、食材の衛生管理や、円滑な運営が図れるような仕組みづくりが大切であることから、そのための体制を検討していきたいと考えている。

を講じてもらうことが重要である。今後も被害の防止に向け、相談体制の充実や関係行政機関と連携するとともに、自治会連合会等の団体や事業者等に協力を求め、被害防止に効果的な施策を実施していきたいと考えている。

問外国籍児童生徒の支援  
消費生活・詐欺等対策



公明党 近藤 芳宏  
地域内分権の確立に向けて

10

問平成29年度で退職される総合政策部長に、地域内分権の構築に向け、後進に言い残しておきたいことを伺う。

答総合政策部長 地域内分権の推進は、持続的な社会の構築につながり、推奨すべき施策だと考えている。関係部署が強力に連携を図り、事務を進めることを期待する。

また、地域内分権を推進・検討するに当たり、標準的な基準や考え方を整理してから事業を展開することも重要な視点だが、個別的な課題等をテーマとし、具体的な取り組みを行いながら課題を検証し整理することも事業の進展につながる。既成概念にとらわれず積極的に事務を進めることを託したい。

問地域内分権の推進



政晴会 樋口 直喜  
時代の節目とまちづくり

11

問明治150年、改元、オリンピックという時代の節目を経て迎える市制施行100周年の後の川越にはどのようなまちづくりが必要だと考えるか。

答市長 時代の節目を総括し、今も伝統的町並みに息づく思いを承継していくことは、将来のまちづくりを描く視点として必要と認識している。また、人口減少や少子高齢

化の進展などに対応し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めることも必要な視点である。こうした認識の下、歴史と伝統に根差した魅力ある川越をしつかりと次世代につなげるとともに、時代の潮流を的確に捉えたまちづくりを進めることが必要であると考える。

問明治150年と改元  
リノベーション活用